

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 11 月 11 日(2024.11.11)

【公開番号】特開 2024-99730(P2024-99730A)  
【公開日】令和 6 年 7 月 25 日(2024.7.25)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-138  
【出願番号】特願 2024-71398(P2024-71398)  
【国際特許分類】  
A 6 1 F 2/16(2006.01)  
【F I】  
A 6 1 F 2/16

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 6 年 10 月 31 日(2024.10.31)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

20

調節式眼内レンズシステムであって、

調節構造を備え、調節構造は、

第 1 の光学構成要素と、

第 2 の光学構成要素であって、前記第 1 の光学構成要素および前記第 2 の光学構成要素の両方を通過する光軸を画定するように前記第 1 の光学構成要素の後部にある第 2 の光学構成要素と、

前記第 1 の光学構成要素と前記第 2 の光学構成要素との間の内側流体チャンバと、

前記内側流体チャンバに流体力学的に連結された外側流体リザーバであって、前記外側流体リザーバは、前記光軸に対して前記内側流体チャンバから半径方向外側に位置決めされ、かつ、外壁を備え、前記外壁は、流体が前記外側流体リザーバと前記内側流体チャンバとの間で流れて、調節を提供するために前記第 1 の光学構成要素および前記第 2 の光学構成要素のうちの一方または両方を移動させるように患者の生来の眼胞と接続し、接触するように構成される、外側流体リザーバと

30

を備え、前記調節構造は、前記調節構造が動作可能で前記患者の前記生来の眼胞内にあるとき、固定レンズが前記第 1 の光学構成要素の前部にあるように、前記固定レンズを着脱自在に保持するように構成されている、調節式眼内レンズシステム。

【請求項 2】

前記調節構造は、前記流体が前記外側流体リザーバと前記内側流体チャンバとの間を流れるときに、前記第 1 の光学構成要素が前記第 2 の光学構成要素よりも移動するように構成されている、請求項 1 に記載の調節式眼内レンズシステム。

40

【請求項 3】

前記調節構造は、前記流体が前記外側流体リザーバと前記内側流体チャンバとの間を流れるときに、前記第 2 の光学構成要素が前記第 1 の光学構成要素よりも移動するように構成されている、請求項 1 に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項 4】

前記調節構造は、前記固定レンズを受け取るように構成された固定レンズレシーバを備える、請求項 1 に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項 5】

50

前記固定レンズレシーバは、前記調節構造の内壁におけるくぼみを含み、請求項 4 に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項 6】

前記固定レンズレシーバは、前記調節構造の内壁における環状のくぼみを含み、請求項 4 に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項 7】

前記第 2 の光学構成要素は、前記外側流体リザーバの後部に位置決めされている、請求項 1 に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項 8】

前記外側流体リザーバの外周に沿って円周方向に分散された 1 つ以上の外側フロースルー特徴をさらに備える、請求項 1 に記載の調節式眼内レンズシステム。

10

【請求項 9】

前記 1 つ以上の外側フロースルー特徴は、前記調節構造が前記生来の眼胞内に配置されたときに前記生来の眼胞に対して回転することを少なくとも部分的に防止するように構成されている、請求項 8 に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項 10】

前記患者の眼からの力または力の変化に応答して、前記調節構造は、偏倚されていない状態と偏倚された状態との間で遷移するように構成され、前記第 1 の光学構成要素および / または前記第 2 の光学構成要素は、前記偏倚されていない状態および / または前記偏倚された状態において光学能を提供しないかまたは実質的に提供しないように構成されている膜を含む、請求項 1 に記載の調節式眼内レンズシステム。

20

【請求項 11】

前記偏倚されていない状態において、前記第 1 の光学構成要素および前記第 2 の光学構成要素は、前記光軸に沿って測定される第 1 の距離によって分離され、前記偏倚された状態において、前記第 1 の光学構成要素および前記第 2 の光学構成要素は、前記光軸に沿って測定される前記第 1 の距離とは異なる第 2 の距離によって分離されている、請求項 10 に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項 12】

前記偏倚されていない状態において、前記第 1 の光学構成要素および前記第 2 の光学構成要素は、前記内側流体チャンバの第 1 の形状および / または第 1 の体積を画定し、前記偏倚された状態において、前記第 1 の光学構成要素および前記第 2 の光学構成要素は、前記第 1 の形状および / または前記第 1 の体積のそれぞれと異なる前記内側流体チャンバの第 2 の形状および / または第 2 の体積を画定する、請求項 10 に記載の調節式眼内レンズシステム。

30

【請求項 13】

前記偏倚されていない状態において、前記調節構造は、第 1 の光学能を提供するように構成され、

前記偏倚された状態において、前記調節構造は、前記第 1 の光学能とは異なる第 2 の光学能を提供するように構成されている、請求項 10 に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項 14】

前記調節構造は、正方形の環状領域をさらに含み、前記正方形の環状領域は、細胞移動が誘導する前記調節構造の手術後の不透明化を少なくとも部分的に防止するように構成されている、請求項 10 に記載の調節式眼内レンズシステム。

40

【請求項 15】

前記固定レンズをさらに備える、請求項 1 に記載の調節式眼内レンズシステム。